

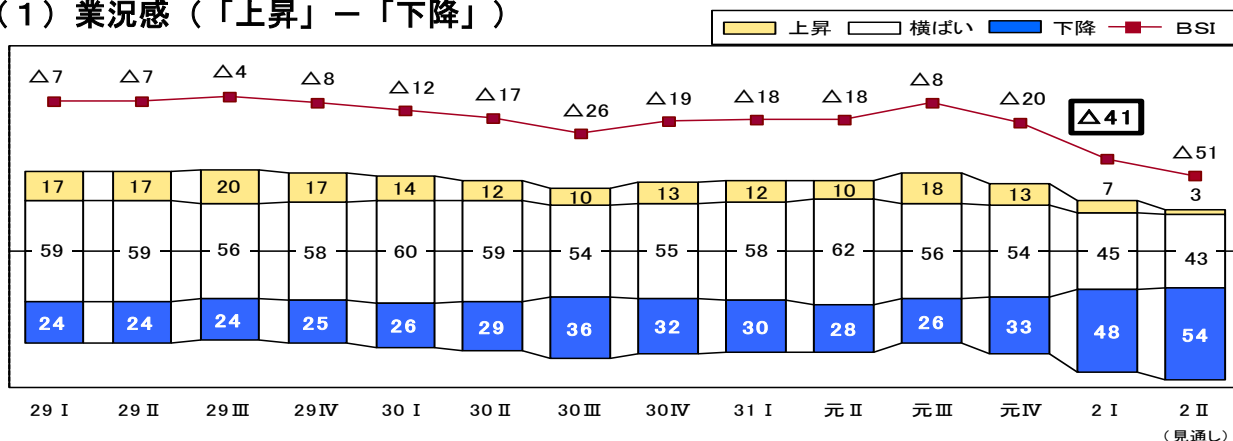
「企業経営者意識調査（令和2年1月-3月）」の概要

令和2年5月1日
経済部経済企画局経済企画課

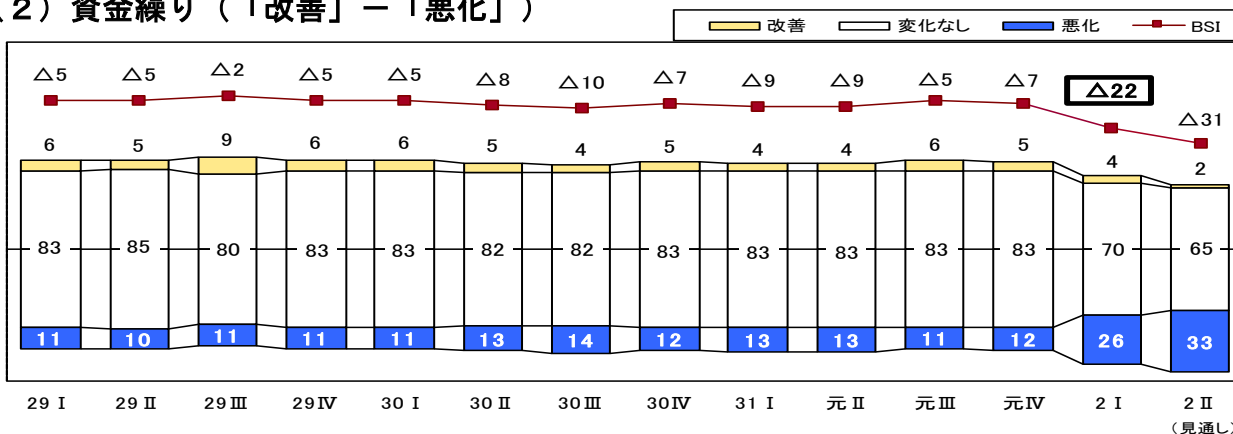
1 企業業況感等調査

- 調査対象企業数 900 社、回答社数 628 社、回答率 69.8%
- 業況感は、前期から 21 ポイント下降し、**△41 ポイント**。（2期連続で下降）
 - ・平成 20 年のリーマンショック時に記録した△53 に迫る低水準。
 - ・業種別では、すべての業種で下降。地域別では、すべての地域で下降。
 - ・来期（4-6 月）見通しは、今期から 10 ポイント下降し、△51 ポイント。
- 資金繰りは、前期から 15 ポイント下降し、**△22 ポイント**。
- 雇用者の不足感は、前期から 6 ポイント下降し、**40 ポイント**。

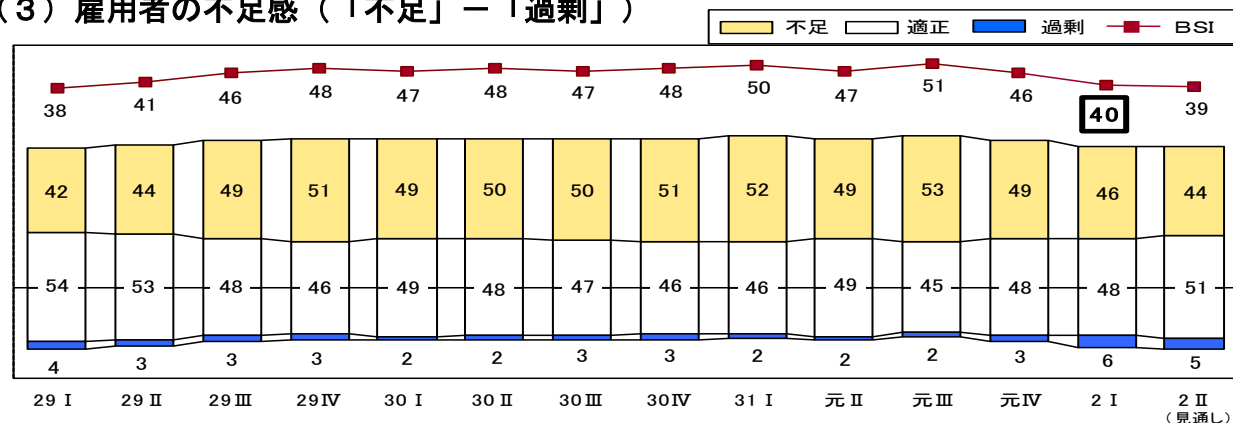
(1) 業況感（「上昇」－「下降」）



(2) 資金繰り（「改善」－「悪化」）



(3) 雇用者の不足感（「不足」－「過剰」）



(4) 業種・地域別の業況感

ア 実績と見通し

区分	R元年 10-12月 実績BSI	R2年1-3月実績					R2年4-6月見通し					
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
総計	△ 20	7	45	48	△ 41	△ 21	3	43	54	△ 51	△ 10	
業種	建設業	△ 7	12	66	22	△ 10	△ 3	5	63	32	△ 27	△ 17
	製造業	△ 15	9	51	40	△ 31	△ 16	4	51	45	△ 41	△ 10
	卸売・小売業	△ 36	2	40	58	△ 56	△ 20	2	30	68	△ 66	△ 10
	運輸業	△ 21	9	39	52	△ 43	△ 22	3	42	55	△ 52	△ 9
	サービス業	△ 16	6	38	56	△ 50	△ 34	1	39	60	△ 59	△ 9
資本金	5千万円未満	△ 26	5	42	53	△ 48	△ 22	3	41	56	△ 53	△ 5
	5千万以上～1億円未満	△ 9	9	51	40	△ 31	△ 22	2	44	54	△ 52	△ 21
	1億円以上	△ 5	16	51	33	△ 17	△ 12	3	55	42	△ 39	△ 22
地域	道南	△ 39	4	37	59	△ 55	△ 16	2	43	55	△ 53	2
	道央	△ 9	10	48	42	△ 32	△ 23	3	47	50	△ 47	△ 15
	道北	△ 18	7	44	49	△ 42	△ 24	4	42	54	△ 50	△ 8
	オホーツク	△ 27	3	48	49	△ 46	△ 19	1	47	52	△ 51	△ 5
	十勝	△ 25	7	40	53	△ 46	△ 21	0	40	60	△ 60	△ 14
	釧路・根室	△ 21	5	48	47	△ 42	△ 21	3	36	61	△ 58	△ 16

イ 主な上昇・下降業種（中分類）

大分類	上昇業種	下降業種
建設業 (▲7→▲10)		総合工事業 (▲8→▲11)、設備工事業 (9→▲9)
製造業 (▲15→▲31)	輸送用機械器具製造業 (▲33→▲29)	食料品製造業 (▲7→▲35) 木材・木製品製造業 (▲10→▲50) パルプ・紙・紙加工品製造業 (▲25→▲60) 化学工業 (▲17→▲20) 窯業・土石製品製造業 (▲33→▲50) 金属製品製造業 (▲14→▲50) 生産用機械器具製造業 (▲13→▲46)
卸売・小売業 (▲36→▲56)	建築材料、鉱物・ 金属材料等卸売業 (▲43→▲27)	繊維・衣類等卸売業 (▲25→▲40) 飲食料品卸売業 (▲29→▲65) 機械器具卸売業 (20→▲11)、その他の卸売業 (0→▲40) 織物・衣服・身の回り品小売業 (▲80→▲83) 飲食料品小売業 (▲8→▲54)、機械器具小売業 (▲64→▲72) その他の小売業 (▲59→▲78)
運輸業 (▲21→▲43)		道路旅客運送業 (▲50→▲92) 道路貨物運送業 (▲22→▲32)、倉庫業 (24→5)
サービス業 (▲16→▲50)	廃棄物処理業 (▲33→0)	情報サービス業 (5→0)、物品賃貸業 (10→▲8) 技術サービス業 (▲17→▲26)、宿泊業 (▲52→▲98) 飲食店 (15→▲73)、洗濯・理容・美容・浴場業 (▲22→▲46) その他の生活関連サービス業 (▲16→▲100) 娯楽業 (▲33→▲67)、自動車整備業 (▲5→▲50) 機械等修理業 (50→17)、職業紹介・労働者派遣業 (0→▲40) その他の事業サービス業 (50→0)

(括弧内の数字は、前期→今期の変化)

ウ 地域別の上昇・下降業種（大分類）

地 域	上昇業種（大分類）	下降業種（大分類）
道南（▲39→▲55）	建設業（▲25→▲15） 卸売・小売業（▲81→▲61）	製造業（▲27→▲50） 運輸業（▲30→▲44） サービス業（▲28→▲80）
道央（▲9→▲32）	建設業（▲6→0）	製造業（▲13→▲33） 卸売・小売業（▲18→▲47） 運輸業（▲3→▲27） サービス業（▲6→▲35）
道北（▲18→▲42）		建設業（17→▲13）、製造業（▲5→▲30） 卸売・小売業（▲50→▲69） 運輸業（▲50→▲63） サービス業（▲23→▲41）
オホーツク（▲27→▲46）	製造業（▲20→▲17）	建設業（▲18→▲31） 卸売・小売業（▲25→▲62） 運輸業（▲27→▲50） サービス業（▲46→▲65）
十勝（▲25→▲46）	卸売・小売業（▲73→▲71）	製造業（0→▲29） 運輸業（▲15→▲42） サービス業（▲23→▲63）
釧路・根室（▲21→▲42）	製造業（▲33→▲18）	卸売・小売業（▲27→▲46） 運輸業（▲31→▲46） サービス業（▲13→▲72）

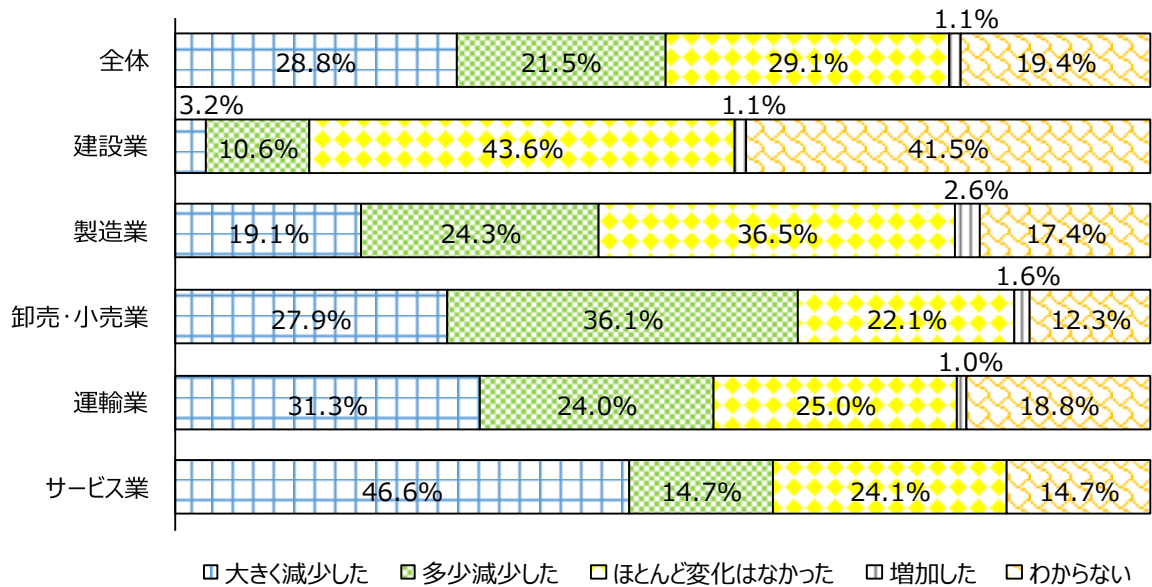
（括弧内の数字は、前期→今期の変化）

2 特別調査

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について

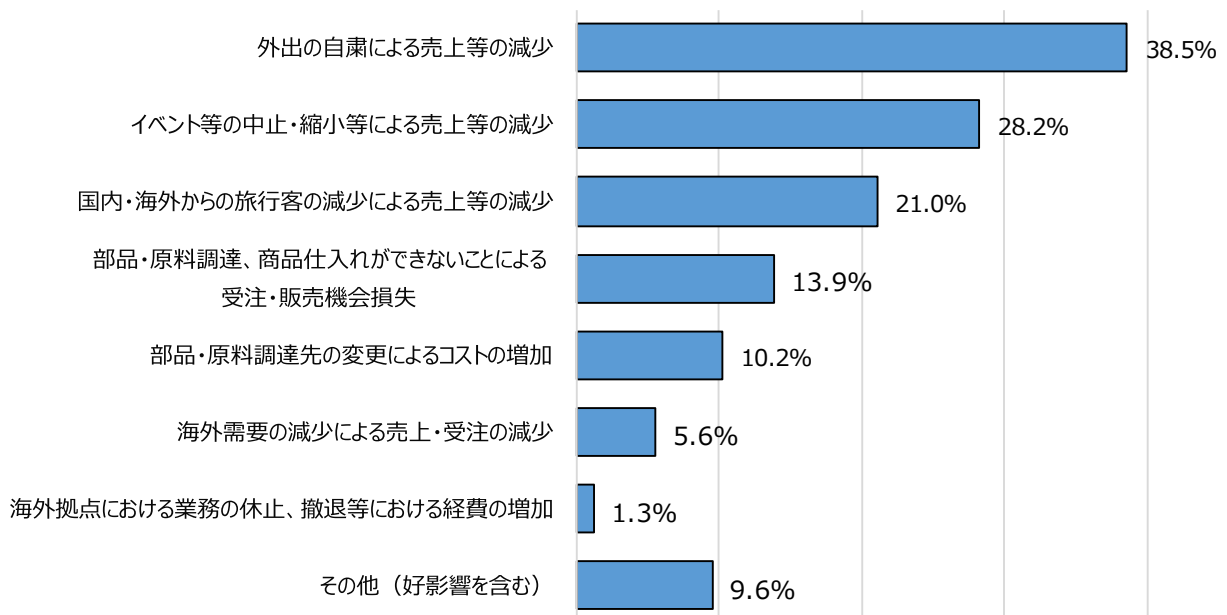
(1) 売上・利益等への影響について

- ・全体では、「大きく減少した」が28.8%、「多少減少した」が21.5%と、合わせて50.3%の企業が減少したと回答した。
- ・業種別では、「大きく減少した」はサービス業で46.6%と最も高く、「大きく減少した」と「多少減少した」を合わせると、卸売・小売業で64.0%と最も高くなった。



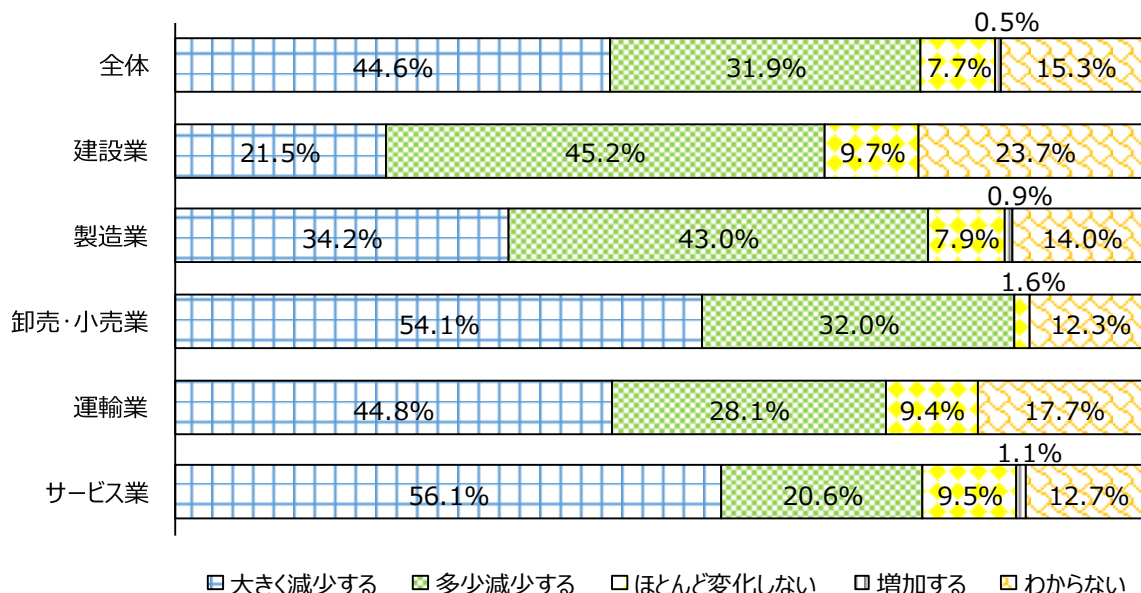
(2) 具体的な影響について ※複数回答

- ・最も多かった回答は「外出の自粛による売上等の減少」の38.5%で、次いで「イベント等の中止・縮小等による売上等の減少」が28.2%、「国内・海外からの旅行客の減少による売上等の減少」が21.0%となった。



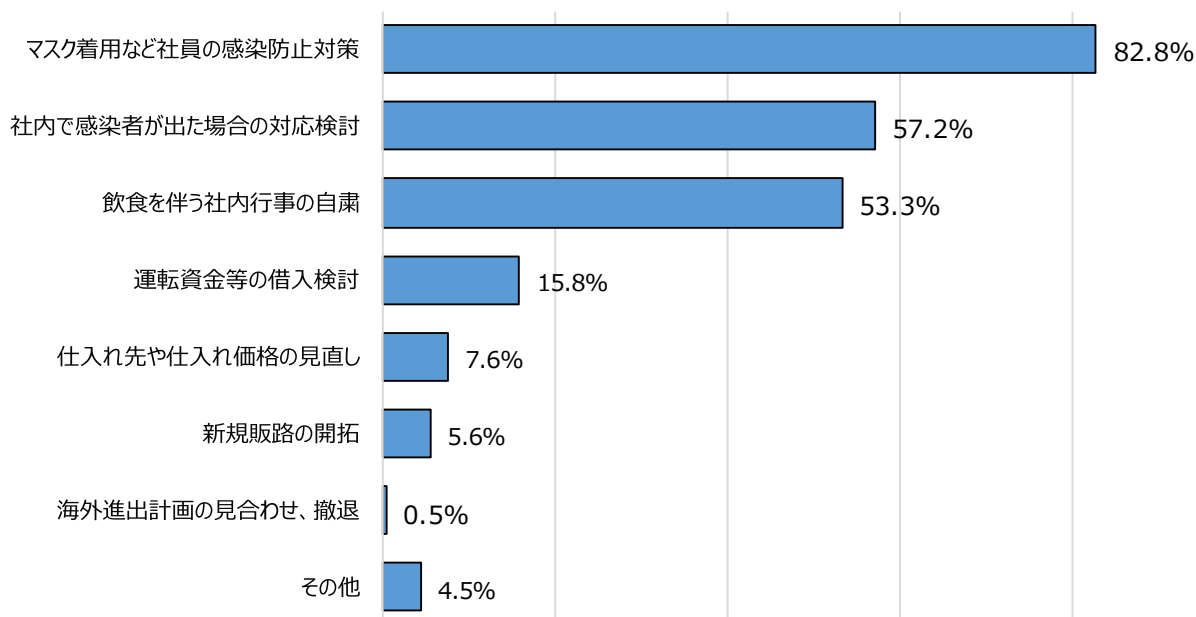
(3) 流行が長期化した場合の売上・利益等への影響について

- ・全体では、「大きく減少する」が44.6%、「多少減少する」が31.9%と、合わせて76.5%の企業が減少すると回答した。
- ・業種別では、「大きく減少する」はサービス業で56.1%と最も高く、「大きく減少する」と「多少減少する」を合わせると、卸売・小売業で86.1%と最も高くなった。



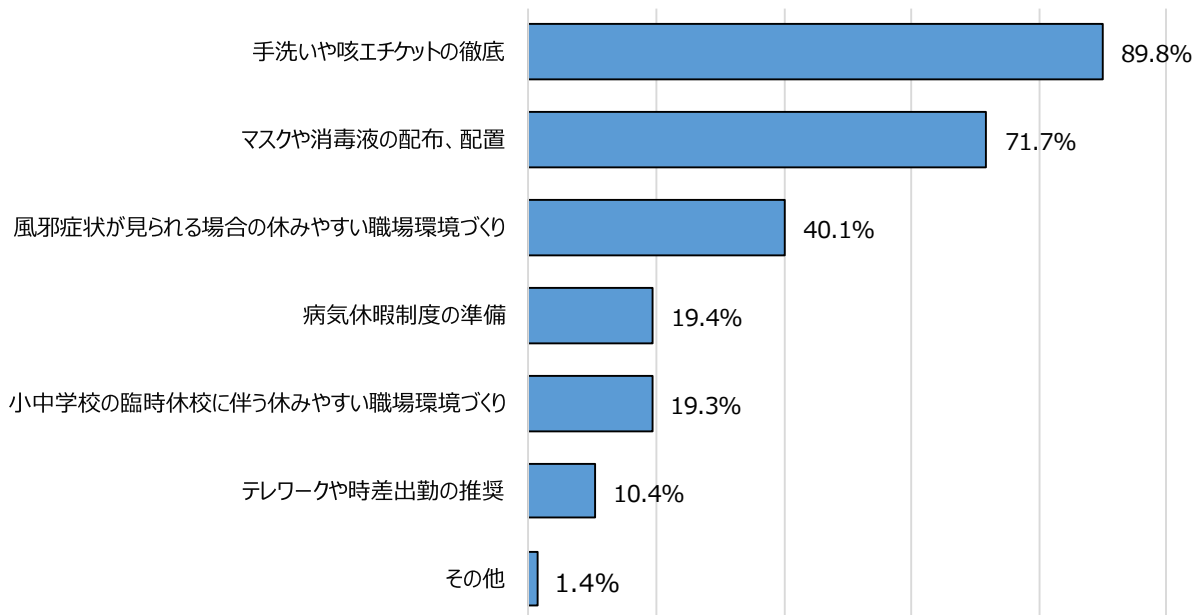
(4) 行っている対策・対応（実施予定のものを含む）について ※複数回答

- ・最も多かった回答は「マスク着用など社員の感染防止対策」の82.8%で、次いで「社内で感染者が出た場合の対応検討」が57.2%、「飲食を伴う社内行事の自粛」が53.3%となった。



(5) 労働環境の配慮にかかる対応について ※複数回答

- ・最も多かった回答は「手洗いや咳エチケットの徹底」の89.8%で、次いで「マスクや消毒液の配布、配置」が71.7%、「風邪症状が見られる場合の休みやすい職場環境づくり」が40.1%となった。



(6) 行政（国・道等）に対する要望・意見について ※複数回答

- ・最も多かった回答は「感染症について正確な情報の発信」の81.1%、次いで「事態収束後の需要喚起」が50.2%、「低利融資などの経営支援」が24.7%となった。

